

女神アステリアは全能の神ゼウスから逃れるためにその身をうずらに変えた。うずらはいつしか浮島となった。アステリアの姉の女神レトはゼウスの寵愛を受け身ごもった。やがて生まれる子が自分の子よりも輝かしい神になるとのお告げを聞いたゼウスの妃ヘラは、この世のすべての大地と島々に、レトにお産の場所を与えることを禁じた。ヘラの祟りを恐れたこの世のすべての大地と島々はレトを拒否した。産気づいたレトを迎え入れたのは、デロスと名を変えてエーゲ海をさまよっていたかつてのアステリアだった。ポセイドンがこれを憐み、浮島を海底に固定してやった。レトは7日7晩におよぶ陣痛の後、月の女神アルテミスを産んだ。アルテミスは生まれるとすぐにレトのお産の手伝いをし、つぎの神が生まれた。辺りは急に明るくなった。太陽の神アポロンだった。島々はデロスを取り囲み、祝福した。